



# みどり

金杉小学校 学校だより  
第11号 3月号  
平成31年 3月1日



〈在籍児童数〉  
男子101名  
女子 80名  
計 181名

学校教育目標  
よく学ぶ子  
なかよく助け合う子  
たくましく健康な子

HPアドレス <http://matsubushi.ed.jp/kanasyo/>

## 3月は別れの季節

校長 谷ヶ崎 均

光が一段と明るくなりました。まだまだ寒い日もありますが、長かった冬もようやく終わり校庭のあちらこちらで春の訪れを感じます。

さて、2月上旬から6年生と会食を行ってきました。1日4名の子ども達と給食をともにしながら、これまでの思い出や中学校への抱負などを中心に楽しい時間を過ごすことができました。初めは緊張していてなかなか話せなかった6年生も、だんだん緊張がほぐれて自分から様々な話題を提供してくれるようになります。私も6年生からお話を聞くだけでは申し訳ないので、質問には可能な限り正直に答えるようにしました。また「校長室に入るのは大場校長先生にかけ算九九の検定をしてもらったとき以来です。」と言って懐かしがっている児童。歴代の校長先生方の肖像写真の多さに金杉小学校の歴史と伝統を感じている児童。中には「ソファに座ってもいいですか。」「アルバムを見てもいいですか。」とお願いする児童等々、緊張と笑いと寂しさが入り交じったなんとも言えない温かな時間が流れました。3月1日（金）には「6年生を送る会」そして3月22日（金）には「卒業証書授与式」と月日は足早に過ぎていきます。素直で心優しく、みんなのために一生懸命頑張ってくれた6年生を精一杯の気持ちで送り出したいと思っています。保護者の皆様のご協力の下、金杉小学校全教職員が地域の皆様とともに精魂傾けて育てた卒業生です。いつの日にか、必ずや夢を叶え、大活躍してくれることを信じています。その日が来るのが楽しみでなりません。

学校に残る者にとっても、3月は別れの季節であることに変わりはありません。教職員の様子を見ていますと、担当していた学年を離れたいという思いが職員室での会話等でこちらまで伝わってきます。また、まだ分かりませんがこの3月末をもって本校を去る教職員もいるかもしれません。こればかりはどうしようもないことと分かってはいても、心の中の寂しさは隠しきれものではありません。教え子のために努力を積み重ねた教師ならではの思いです。その思いを胸に抱きつつ、最後まで精一杯力を尽くそうと日々打ち込む姿に教師としての矜持を強く感じています。

この1年間、保護者の皆様、地域の皆様には本校教育の推進のために様々な面でご支援・ご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。お陰様で大きな事故もなく、計画通りに教育活動を実施することができました。たいへんありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 《6年生 校長先生との会食会》

間もなく金杉小学校を巣立っていく6年生との会食を、今年も実施しました。1日4人程度のグループになり、校長先生と様々な会話をし、喫食しています。小学校生活で特に心に残ったことを話したり、中学校へ向けての話をしたりしながら楽しい時間を過ごしました。



### 《投力アップ教室》

昼休みを活用して「投力アップ教室」を行いました。児童も楽しみながら取り組み、ボールを遠くまで投げました。



### 《手話体験》

3年生が、総合的な学習の時間の中で、松伏手話サークルの方々を招き手話体験をしました。



### 《授業参観・学級懇談会》

今年度最後の授業参観を18日（月）、19日（火）に実施しました。子どもたちは、この1年間の学習の成果を様々な形で披露し、保護者の皆様にお見せすることができました。懇談会では、担任から、1年間の成果や課題、次年度に向けての方向性についての話があり、有意義な時間となりました。保護者の皆様、温かいご支援・ご協力、ありがとうございました。



### 《交通事故や不審者に遭わないために…》

町内でも、児童の下校時に不審者（疑いを含む）に遭遇したり、交通事故に巻き込まれたりする事案が発生しています。学校でも十分指導して参りますが、家庭でも声掛けをお願いします。

## 3月の行事予定

1	金	あいさつ運動6年、学校評議員会 6年生を送る会、交流給食
2	土	環境整備⑥8:30～
3	日	
4	月	あいさつ運動6年、卒業式練習
5	火	あいさつ運動6年、全校朝会、卒業式練習 教育相談日
6	水	卒業式練習
7	木	第2回交通指導員・見守り隊連絡会 PTA保健厚生花植え作業、卒業式練習 委員会活動（最終）
8	金	お話ポケット
9	土	
10	日	
11	月	特別日課 下校14:10～
12	火	開校記念日
13	水	特別日課5時間、通学班編成・一斉下校 （授業終了後実施）下校14:45頃 大そうじ週間、卒業式練習
14	木	特別日課5時間授業（下校14:10頃）、 卒業式練習 2年リコーダー講習会
15	金	特別日課、6年ミニバイキング、 中学校卒業証書授与式
16	土	
17	日	
18	月	特別日課5時間（下校14:10頃） 卒業式予行
19	火	表彰朝会、卒業式練習
20	水	特別日課、給食終了日、卒業式準備（5年）
21	木	春分の日
22	金	卒業証書授与式（1～3年臨時休業日）
23	土	
24	日	
25	月	3時間授業 下校11:35～
26	火	3時間授業、修了式、下校11:35～
27	水	学年末休業日
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

### 【4月のおもな予定】紙面の都合で一部のみ掲載

4日（木）新6年準備登校8:50～11:00  
8日（月）3時間授業・始業式・入学式（1～5年 11:20 下校）  
9日（火）3時間授業・通学班編成・一斉下校 下校11:30  
10日（水）給食開始・1年補食・発育測定2～6年 1年 11:35 下校  
11日（木）埼玉県学力・学習状況調査（4～6年）  
12日（金）PTA新日本部会・新旧全体総会  
16日（火）1年補食終了  
17日（水）特別日課5時間 1年4時間授業開始  
18日（木）全国学力学習状況調査（6年）  
19日（金）授業参観・懇談会1～3年・ひまわりたんぼほ  
22日（月）授業参観・懇談会4～6年

# 金杉小学校の歴史

## ～開校記念日に寄せて～

3月12日(火)は、金杉小学校の開校記念日です。今号では、金杉小学校の歴史等について特集します。

### 沿革 (ダイジェスト版)

- 明治 8年 3月 12日 築比地小学校創立 宝蔵院を仮校舎とする  
20年 築比地尋常小学校となる  
42年 4月 金杉尋常小学校となる  
大正 15年 4月 高等科設置が認可され、金杉尋常高等小学校となる  
昭和 4年 新校舎落成 校歌ができる  
22年 4月 1日 校名を埼玉県北葛飾郡金杉村立金杉小学校と改称  
埼玉県北葛飾郡金杉村立金杉中学校を併置  
25年 3月 31日 金杉中学校を廃止  
31年 4月 15日 村名変更により校名を松伏村立金杉小学校と改称  
44年 4月 1日 町制施行により松伏町立金杉小学校と改称  
51年 4月 1日 現在地に新校舎落成、全校移転  
63年 6月 金小富士の造成完了  
平成 9年 3月 17日 大型滑り台新設工事完了  
11年 3月 敷地内に金杉地区学童保育所新設  
13年 9月 17日 埼玉県「交通安全優良学校賞」表彰  
27年 10月 31日 埼玉県「埼玉・教育ふれあい賞」表彰  
29年 4月 文部科学省より小規模特認校制度を受ける



### 校章

中程に「学校」の「學」の文字、両側に葉、高い位置にペン先を型取ったような五角形がありますが、正確な由来は伝わっていません。ご存知の方がいらっしゃいましたら、学校までご連絡いただければと思います。どうぞ宜しくお願いします。

### 校歌・金小みんなのうた



校歌



金小みんなのうた

左は、体育館前面右上に掲額されている金杉小学校校歌です。三代目校長 飯島 定之助 氏が作詞し、六代目校長 飯島 専一 氏が作曲されました。制定当時は三拍子だったようですが、昭和40年代に入り鼓笛演奏が盛んに行われるようになった折に、当時松伏中学校校長であった日向 雅男 氏により四拍子に編曲されました。

金杉小学校には、もう一つ「金小みんなの歌」があり、同じく体育館前面左上に掲額されています。これは、昭和63年当時3年生の児童が作詞し、音楽担当だった 新井 芳樹 先生が作曲されました。どちらの曲も、金杉小学校のみんなに愛されています。

### 金小シンボル ジャンボすべり台

#### 1 経緯について

子どもたちが遊びながら体力づくりができるようにと思い、当時の校長先生(第25代校長 高橋 明 先生)が提案しました。また、もともとあった金小富士と同じくらいの学校のシンボルにするために、高くしました。

#### 2 大きさ・費用について

高さは10mで、長さは17mです。費用は、当時の金額で約500~1,000万円かかったそうです。

#### 3 当時の滑り台

すべり台ができた当時の低学年の児童は、すべり台が高くて、こわがってしまい、すべれなかったそうです。すべるところが真っ直ぐではないのは、スピードをゆるめるためだそうです。



### 金杉小学校の卒業生

金杉小学校の卒業生には、松伏町の名誉町民がお二人います。お二人の資料は、研修室他に掲示されておりますので、ぜひご覧ください。

#### 金子丑之助 医学博士

解剖学の権威として日本医科大学、埼玉医科大学の名誉教授となりました。昭和52年、勲三等瑞宝章を受章されています。

#### 後藤 純男 画伯

日本画家として芸術の進歩に貢献されました。平成18年旭日小綬章、28年恩賜賞、芸術院賞を受賞されています。